



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



11 住み続けられる  
まちづくりを



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう

## 原発災害からの復興と持続可能な地域社会の 構築に向けた政策研究と発信

法文学部 教授 関 耕平

関研究室では東日本大震災、とくに福島原発事故以後の復興政策についての研究を行っています。福島県内では放射能汚染により一時期、住民が全員避難し、人口がゼロになった区域があります。徐々に人が戻っていますが、原発事故前の4分の1ほどの人口にとどまっている地域も珍しくありません。こうした地域の中でも、コミュニティの再生や地域産業の復旧に一生懸命になっている人々が多くいます。こうした取り組みを国や地方自治体がどのように支えていくべきか、福島県に通いながら、復興行財政政策についての分析と提言を行っています。

またこうした原発事故を繰り返さないために何が必要か、私たちの身近にある島根原発の歴史を分析しながら、日々考え、発信しています。

福島原発事故は、原発依存の日本のエネルギーのあり方を問い直すきっかけになりました。そんな中で、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの宝庫である農山村の可能性も開かれつつあります。こうしたことを学生とともに考えるべく、テキストも執筆・刊行しています。



### 福島復興の 視点・論点

原子力災害における政策と人々の暮らし

川崎興太・窪田亜矢・石塚裕子・萩原拓也  
〔編著〕

明石書店



### 島根の原発・ エネルギー問題を 問い合わせなおす

上野 哲郎  
猪俣 駿之  
片桐 伸哉  
柳澤 勝  
鶴見 順  
伊藤 順久



### エネルギーは 地域社会の将来を変える

「原発は本当に地域社会を発展させるのか?」――「実際」としての原発と  
実験室。電力需要の緩和からも再考されねばならないだろうか。原発が  
資源小国を抱えたままの山形への移転が結ぶ――何が今後どうを意味  
として認識するか――



### 地域から考える 環境と経済 アクティブな 環境経済学入門

THINKING ABOUT ENVIRONMENT AND ECONOMY  
FROM LOCAL SUSTAINABILITY

八木耕一  
関 耕平

有斐閣 スタディア  
THINKING ABOUT ENVIRONMENT AND ECONOMY FROM LOCAL SUSTAINABILITY  
身近な地域から、環境と経済を考える  
アクティブな  
環境経済学入門!

